

「胎児心エコーのすべて」正誤表

「胎児心エコーのすべて」（2017年2月1日第1版第1刷）に誤りがありました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

2017年8月7日

(メジカルビュー社編集部)

頁	誤	正																																						
81	<p>表1 内臓錯位の胃胞の位置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">無脾症 (36)</th> <th colspan="2">多脾症 (37)</th> </tr> <tr> <th>胃胞左側</th> <th>胃胞右側</th> <th>胃胞左側</th> <th>胃胞右側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心尖部左側</td> <td>6 (16.7%)</td> <td>16 (44.4%)</td> <td>6 (16.7%)</td> <td>16 (44.4%)</td> </tr> <tr> <td>心尖部右側</td> <td>8 (22.2%)</td> <td>6 (16.7%)</td> <td>8 (22.2%)</td> <td>6 (16.7%)</td> </tr> </tbody> </table>		無脾症 (36)		多脾症 (37)		胃胞左側	胃胞右側	胃胞左側	胃胞右側	心尖部左側	6 (16.7%)	16 (44.4%)	6 (16.7%)	16 (44.4%)	心尖部右側	8 (22.2%)	6 (16.7%)	8 (22.2%)	6 (16.7%)	<p>表1 内臓錯位の胃胞の位置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">無脾症 (36)</th> <th colspan="2">多脾症 (37)</th> </tr> <tr> <th>胃胞左側</th> <th>胃胞右側</th> <th>胃胞左側</th> <th>胃胞右側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心尖部左側</td> <td>6 (16.7%)</td> <td>16 (44.4%)</td> <td>14 (37.8%)</td> <td>13 (35.1%)</td> </tr> <tr> <td>心尖部右側</td> <td>8 (22.2%)</td> <td>6 (16.7%)</td> <td>4 (10.8%)</td> <td>6 (16.2%)</td> </tr> </tbody> </table>		無脾症 (36)		多脾症 (37)		胃胞左側	胃胞右側	胃胞左側	胃胞右側	心尖部左側	6 (16.7%)	16 (44.4%)	14 (37.8%)	13 (35.1%)	心尖部右側	8 (22.2%)	6 (16.7%)	4 (10.8%)	6 (16.2%)
	無脾症 (36)		多脾症 (37)																																					
	胃胞左側	胃胞右側	胃胞左側	胃胞右側																																				
心尖部左側	6 (16.7%)	16 (44.4%)	6 (16.7%)	16 (44.4%)																																				
心尖部右側	8 (22.2%)	6 (16.7%)	8 (22.2%)	6 (16.7%)																																				
	無脾症 (36)		多脾症 (37)																																					
	胃胞左側	胃胞右側	胃胞左側	胃胞右側																																				
心尖部左側	6 (16.7%)	16 (44.4%)	14 (37.8%)	13 (35.1%)																																				
心尖部右側	8 (22.2%)	6 (16.7%)	4 (10.8%)	6 (16.2%)																																				
82	<p>下大静脈(IVC)の位置異常からのスクリーニング</p> <p>腹部断面ではDAOは脊柱の左前、胃胞は右前に存在している。すなわち、下行大動脈(DAO)と胃胞は逆のサイドにあるのが正常である。右側相同では90%以上でDAOと胃胞は同じ側にある(aortico caval juxtaposition)。一方、左側相同では75～90%で下大静脈が欠損し、奇静脈もしくは半奇静脈が下大静脈と同じくらいの大きさに拡大し、横隔膜を貫いて上行し、左右の上大静脈(SVC)と結合している(下大静脈欠損/奇静脈、半奇静脈結合)。内臓錯位には数多くの異常所見が存在するが、胃胞の位置異常は最も高頻度に認められる所見であり、内臓錯位/逆位のスクリーニングや診断に非常に有用である(図9～13, 表2)。</p>	<p>下大静脈(IVC)の位置異常からのスクリーニング</p> <p>腹部断面では下行大動脈(DAO)は脊柱の左前、IVCは右前に存在している。すなわち、DAOとIVCは逆のサイドにあるのが正常である。右側相同では90%以上でDAOとIVCは同じ側にある(aortico caval juxtaposition)。一方、左側相同では75～90%で下大静脈が欠損し、奇静脈もしくは半奇静脈が下大静脈と同じくらいの大きさに拡大し、横隔膜を貫いて上行し、左右の上大静脈(SVC)と結合している(下大静脈欠損/奇静脈、半奇静脈結合)。内臓錯位には数多くの異常所見が存在するが、IVCの位置異常は最も高頻度に認められる所見であり、内臓錯位/逆位のスクリーニングや診断に非常に有用である(図9～13, 表2)。</p>																																						

圖 13 | 多脾症候群 (左側相同)

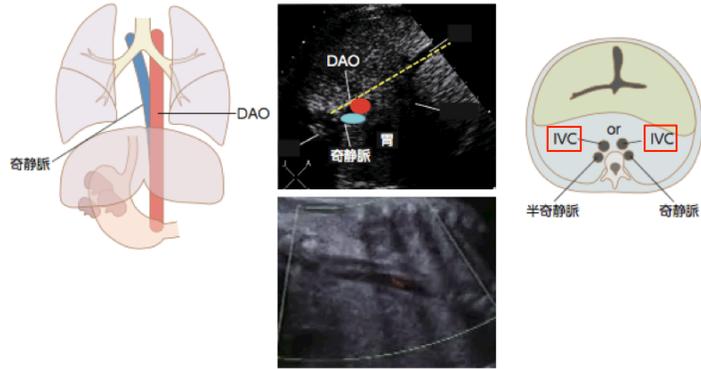


圖 13 | 多脾症候群 (左側相同)

